

令和7年度 市政に関する市民懇談会記録（那須塩原市図書館みるる）

日 時 令和7年10月17日（金）18：30～19：40

会 場 那須塩原市図書館みるる ツグナラホール

参加人数 6人

出席者 市長、企画部長

企画政策課長（司会）、企画政策課長補佐、情報戦略係

テーマ 那須塩原のこれからとわたしたちのまちづくり

《意見交換》

**参加者：**塩原に住んでいるが、バスの便が減っている。塩原の交通の便はどうやったら良くなるか。

**市長：**自動運転の実用化の可能性を探っている。アプリでの呼び出しや、将来的なライドシェアなど、新しいテクノロジーを使って効率よく回せる仕組みを考えたい。また、塩原を「移住の地」としての魅力も打ち出し、人口を増やす視点も持ちたい。

**参加者：**国の言う「地方創生」について、国はどのようなことで地方を元気にしようとしているのか。

**市長：**かつてのように地方にお金を配って終わりではなく、デジタル人材の地方への派遣の取組なども行われている。特区制度など地方側からの提案も認められつつあり、自治体の生存競争の中、良い街であり続けられるよう努力したい。

**参加者：**那須塩原駅周辺のまちづくりに、ぜひ高校生など若い人の意見を聞いて参加してもらいたい。また、図書館や新庁舎の設計は、信頼できる設計者を選んで進めることが良いものを作る一つの方法だと思う。

**市長：**那須塩原駅前を活性化し、「那須塩原らしさ」を感じられる魅力的なエリアにしていきたい。ブランディングの一環で制作している雑誌の編集やワークショップなど、若い方の意見を積極的に取り入れる取り組みは進めている。施設づくりは、理念を創って曲げずに進めることが重要だと考えている。

**参加者：**クーリングシェルターの取組でコンビニが指定されているが、小学生には入りにくい。小学生が使いやすい場所はないか。

**市長：**子供でも気軽に入りやすい場所を作っていくという指摘はとても重要であり、今後考えていきたい。

**参加者：**小学生が学区外のコンビニに行くのは学校のルールで厳しい場合がある。自治会長のなり手が不足している中、自治会があった方がいいが今の形である必要はないと思うが、今後のあり方についてどう考えているか。

**市長：**学校のルールはフレキシブルに対応されていると思うが、厳しいルールが残っているなら指摘していきたい。自治会については、回覧板などデジタルで補完できるものは移行し、自治会でなければならないことなどを整理していきたい。

**参加者**：さまざまな交通アクセスが不便。自分の関わっているフリースクールでは、スタッフの時間が送迎に割かれてしまっている現状がある。リタイアした運転手などを活用してバスの代行などができないか。

**市長**：バスの運転には有資格者が必要だが、地域の NPO が移動支援を行っているケースもある。法律の縛りもあるが、子ども世代への支援も含めて議論の余地があると思う。